

子宮蓄膿症と空腸破裂を伴った

猫の消化器型リンパ腫の1例

○浅枝英希, 矢吹淳, 小出由紀子, 小出和欣 (小出動物病院・岡山県)

【はじめに】

猫の消化器型リンパ腫はほとんどがFeLV抗原陰性で, 発症年齢の中央値は9~13歳齢である。臨床徴候は通常慢性的な経過を示すものが多い。今回, 腹膜炎を伴った子宮蓄膿症と仮診断し, 術中に空腸破裂を発見し消化器型リンパ腫と診断された猫を治療する機会を得たので, その概要を報告する。

【症例】

アメリカン・ショートヘア, 雌, 15歳9カ月齢

【主訴と現病歴】

今朝からの食欲不振, 嘔吐を主訴に来院。3種混合ワクチン毎年接種。

【既往歴】

猫汎白血球減少症(1歳11カ月齢時), 瓜実条虫寄生(10歳7カ月齢時)

【身体検査所見】

体重2.65kg(BCS2.5), 体温38.9℃。軽度の皮膚脱水と腹部膨満を認めた。

【初診時臨床検査所見】

◎血液検査

CBCでは総白血球数の減少が認められ, 桿状核好中球4%, 分葉核好中球56%, リンパ球34%, 単球4%, 好酸球2%であった。(図1)

血液化学検査ではAST, NH₃, CKの軽度上昇, TP, Alb, Kの低下を認めた。(図2)

また, FIV抗体とFeLV抗原は共に陰性であった。

◎胸腹部単純X線検査

胸骨の変形, 腹部膨満, 腹部コントラストの低下と消化管の変位を認めた。(図3, 4)

◎腹部超音波検査

拡張した子宮腔内に無~低エコーの貯留物と腹水貯留を認めた。(図5)

【診断・治療および経過】

以上の検査結果より敗血症, 腹膜炎を伴った子宮蓄膿症と仮診断し, 直ちに内科的集中治療を開始するとともに, 同日全身麻酔下にて開腹術を実施した。開腹時所見として腹腔内に膿性腹水貯留と両側子宮角の著しい拡張を確認したものの, 子宮に破裂部は確認されなかった(図6)。盲腸から約40cmの空腸部に拡張した領域が認められ, その中央に破裂部を確認した(図7)。腹膜, 大網, 腸間膜に重度の充出血を認め, 卵巣子宮摘出術, 腸管破裂部位の切除, 吻合術を行い, 十分に腹腔内を洗浄した後, 閉腹した。病理組織検査において, 子宮は内膜ポリープ, 腸管は, 大型のリンパ芽球様細胞が増殖し, 一部が筋層から漿膜面を越え, 周囲の腸間膜脂肪組織間にまで及んだhigh gradeのリンパ腫であった(図8, 9)。術後は貧血が認められたものの, 輸血により改善し, 術後10日目に抗生物質, 整腸剤を処方して退院とした。術後17日目よりプレドニゾロンの投与, ビンクリスチンを7~10日間隔で投与開始し, しばらく一般状態は良好であった。しかし, 術後87日目に触診, 超音波検査において腸管の肥厚, リンパ腫の再発を確認し(図10), 以後飼い主の希望で化学療法を中止とした。その後は徐々に衰弱し, 術後105日目に斃死した。

【考察】

本症例では, 術前に腹水貯留は子宮蓄膿症が破裂したためと考えたが, 実際には腫瘍化した腸管の破裂による腹膜炎に起因したものであった。老齢猫においては, 予後評価において合併症が存在することを充分考慮にいれ, より慎重な診断を行わなければならないと思われた。

RBC($\times 10^6/\mu l$)	9.06	WBC(/ul)	1700	TP (g/dl)	5.0	CK (U/l)	269
Hb(g/dl)	14.5	Band-N	68	Alb (g/dl)	2.2	Amylase (U/l)	900
PCV(%)	40	Seg-N	952	TBil (mg/dl)	0.4	BUN (mg/dl)	25.5
MCV(fl)	44.2	Lym	578	AST (U/l)	43	Cre (mg/dl)	1.2
MCH(pg)	16.0	Mon	68	ALT (U/l)	35	Ca (mg/dl)	8.6
MCHC(g/dl)	36.3	Eos	34	ALP (U/l)	47	Na (mmol/l)	155
Icterus Index	≤2	Plat($\times 10^3/ul$)	265	NH ₃ (mg/dl)	62	K (mmol/l)	2.8
Hemolysis	—	HPT(sec)	24.5	Glu (mg/dl)	95	Cl (mmol/l)	113
FIV-Ag	—	APTT(sec)	50.6	TCho (mg/dl)	101	pH	7.216
FeLV-Ab	—					HCO ₃ (mmol/l)	14.2

図1 初診時血液一般検査所見

図2 初診時血液化学検査所見

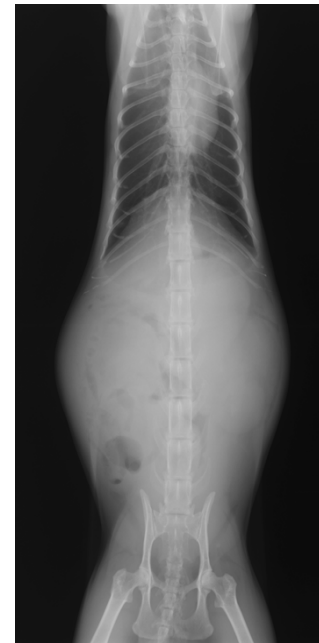


図3 初診時胸腹部単純X線所見 (VD像)

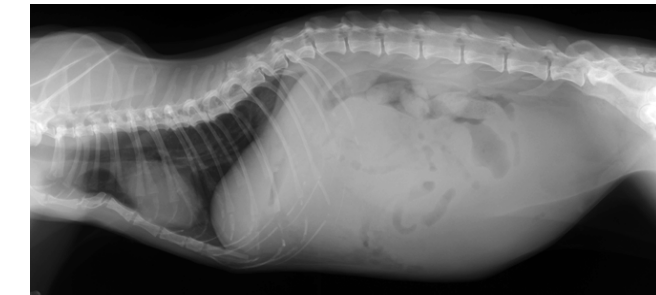


図4 初診時胸腹部単純X線所見 (RL像)

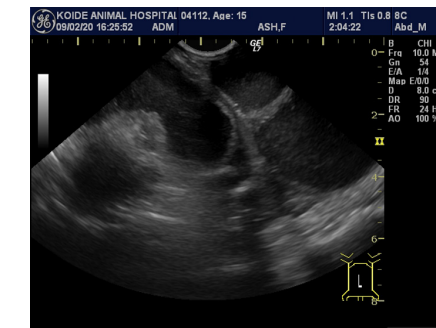


図5 初診時腹部超音波所見

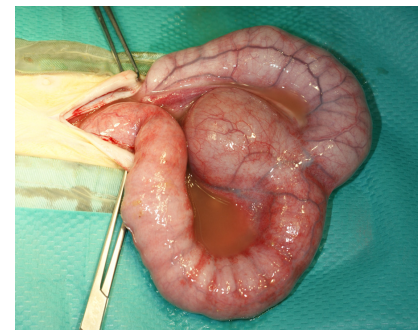


図6 開腹時所見

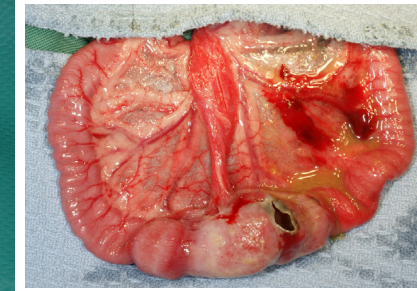


図7 開腹時所見

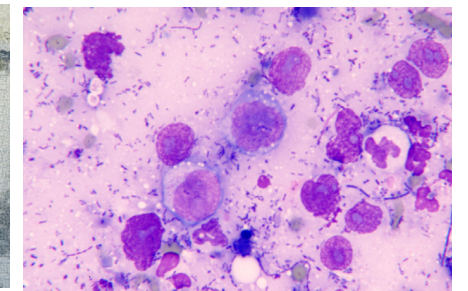


図8 腸管細胞診所見

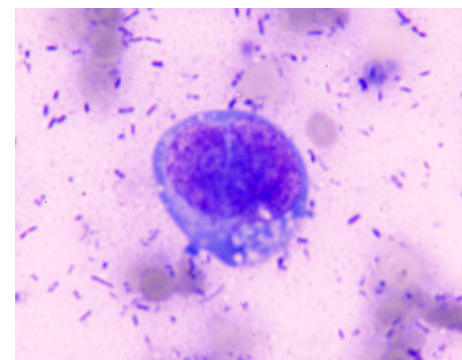


図9 腸管細胞診所見

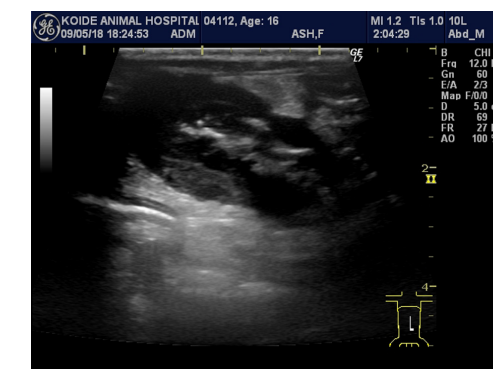


図10 術後87日目腹部超音波所見